



新潟の橋本先生，赤坂先生，三條先生という師弟関係にある3人が，自分たちが歩んでこられたことを振り返りながら，特活の魅力について語っていただきました。橋本先生がつくられたレジメから，この対談の内容とねらいを紹介しておきます。

\*\*\*\*\*

担任と子どもとして同じ場において同じ時間をくぐったという貴重な三人です。橋本担任が何を思って何をやり，学級の子も：真二君と貴之君はどう受け止めてどう動いたか。その後，橋本教師は，また教師になった真二君と貴之君は，それぞれどんな特別活動を進めていったのか。さらに，新たな局面を迎えた特別活動に，今どのような思いを抱いているのか。などの対話が進展すると，特別活動の魅力が浮き出てくる予定です。

\*\*\*\*\*

#### ■その4 講演～改訂でこう変わる特別活動■□■

会の最後は，文科省教科調査官の杉田先生にお話していただきました。まさに新学習指導要領告示直前というタイミングでの講演でしたので，新しい特別活動がどのような形で実施されるのか，その課題はどういうものなのかについてのお話を聞くことができました。

つい先日，中教審の答申も出ましたが，その中にも述べられているように，特別活動の課題を明らかにして，子どもたちに生きて働く力を育てる方向で改訂がなされるということです。

特別活動の今後の課題ということで調査官から示されたものを紹介しておきます。

#### 《《改訂を見据えた特別活動の実践課題》》

- (1) 社会参画の態度や自治的能力の育成の重視
  - ・公共の精粹　・自由と責任の体得
  - ・自らよりよい生活を築くために合意形成をする話し合い活動や自分たちでルールをつくって守る活動などを一層重視する。(法教育との関連)
- (2) 学級集団育成上の課題や発達の段階に応じた課題に即して計画的に指導をする
  - ・学級集団づくり、学級経営との関連
  - ・就学前教育との接続、中学校との接続（自己の生き方）
  - ・学級集団育成の評価（望ましい集団活動の条件）
  - ・よりよい人間関係を築くための社会的スキルを身に付けるための活動を効果的に取り入れる。
    - 〇ができる人間関係の育成
      - 仲良く助け合う→協力し合う→信頼し支え合う
    - ・○〇に関する自主的、実践的な態度の育成　進んで→意欲的に→自主的に
- (3) 道徳や総合的な学習の時間などとの有機的な関連を図ったり、指導方法や教材を工夫したりすることが必要である。
  - ・道徳的实践の指導の充実　道徳（教育）と特別活動の関連

- ・指導方法や指導案の工夫  
教材の開発（学級活動ノートの開発，各種の指導のための教材の開発）
- (4) 体験活動や生活を改善する話し合い活動、多様な異年齢の子どもたちからなる集団による活動を一席重視する。特に体験活動については、体験を通して感じたり、気付いたりしたことを振り返り、言葉でまとめたり、発表し合ったりする活動を重視する。
  - ・話し合い活動の充実  
（「学級会」の名称の復活、民主的な解決、自己指導的な解決）
  - ・生活問題の発掘と話し合いの方法の開発
  - ・学級活動と体験活動（学校行事等）の連携
  - ・異年齢交流活動の活用（クラブ、児童会，縦割り班での取組）
- (5) キャリア教育の視点からの取組
  - ・勤労，役割，責任，自己の生き方，チームで働く力，折り合いの力など

特別活動の様々な課題が明らかになってきています。これからは特別活動にも成果が求められることになってくると考えます。どのような取組が必要なのか，考えていくことが大事になってきますね。

---

## 2 冬の学習会 感想 その1

---

参加していただいた方々から多くの感想をいただきました。その一部を今号と次号の2回に分けて紹介しておきます。

- ★話し合い活動のポイントと対処や声かけの仕方がとてもよく分かりました。自分がはまってしまうポイントを明確にしてもらえたように思います。また，特活がいかに大切かが分かったと同時に，特活の勉強をしてよかったなと嬉しくなりました。
- ★帰って同学年の先生たちに，特活部の方々に話したい！伝えたい！と思うお話ばかりでした。講義をされたお一人お一人の内容の中に，即実行でき，明日からでも学級で取り入れられることやその考え方など素敵なことがたくさん出てきてとてもよかったです。  
杉田調査官のお話はとても嬉しくなりました。今までこうしたいとぼんやり思っていたことが，はっきりとしたお言葉で述べられ，今から自信を持ってこの仕事ができると思いました。
- ★いろんなお話が聞け，とても嬉しかったです。特別活動の奥深さもひしひしと感じました。また，たいへん重要な役割のあるやりがいのある活動だと再認識しました。

- ★各教科に比べて学級活動についての研修があまりなく、私自身も学級活動に対する取組が熱心ではありませんでした。今回、学級活動の実践や具体的な取組を知ることができ、本当に有意義な時間を過ごせました。来週から、さっそく実践していこうと思います。
- ★今回は「話し合い」ということについて特に感じ入り、学ばせていただきました。私も話し合いの「一歩手前」で立ち止まっていた者の一人です。これから、一歩踏み込んだ実践ができるよう、がんばっていきたいと思います。先生方の熱い話をお聞きし、こちらの心も熱くなりました。
- ★どのお話も内容が深く、さらにじっくりと聞きたいと思うものでした。学級経営にダイレクトに響く実践を真似していけたらと強く思いました。教師としての礎に戻してもらおう会で、自分の教育活動をふり返るよい機会になっています。
- ★朝からそれぞれの内容に大いなる刺激を受け、考えさせられました。私たちも特活の魅力に少しずつはまりつつ研修を進めているところです。つい理想を追ってしまいたくなるのですが、「絵に描いたもち」にならぬよう、言葉の先走りを押さえなければと自省しました。子どもたちの真の力となる特活にしたいと念じています。
- ★すばらしい実践発表、模擬授業、特別活動への熱い思い、これからの特活についてのお話と幅広い研修ができたことをとてもうれしく思います。よくこれだけの発表者が集められますね。すばらしい研修会にバンザイです。
- ★橋本先生、赤坂先生、三條先生の対談はたいへん興味深かったです。自分の実践を子どもたちがどのように感じているのかという視点は今まで忘れがちだったなあと。理論だけでなく、その場の空気感や子どもたちのつぶやきをこれからも大切にしていきたいと改めて思いました。
- ★学級づくりにおいてみんなの創意が大切であると常に考えてきました。創造的なもの、規律的なもの、どちらにしても「自分も賛成できる」「そう思える」という意思の表しがみんなの前でできること、それが必要だと考えていました。今日、「合意」という言葉を何度も聞き、とても共感しています。
- ★学級会、特別活動に自分なりに取り組んでいるつもりですが、いつも勢いだけで、きちんとした目的、目標、姿が見えていないような気がしています。橋本先生、赤坂先生、三條先生のお話を聞いて、とても感動しました。
- ★講座の内容はもちろん、形式がよかったです。特に模擬学級会や新潟の三人のお話がとてもよかったです。特別活動の素晴らしさ、まさに学級づくり、人間づくりの中核になるということを変更して理解することができました。

★学級会を少し真剣に取り組んでみて、子どもたちが変わっていく様子を感じることができ、特別活動の重要性がわかってきたところで今日のような会に参加でき、あれもやってみたい、これもやってみたいと思う方法をたくさん見つけることができました。

★どの講座、活動も他県の先生方のいろいろなアイデアを紹介していただいて、とても勉強になりました。特に前田先生の実践の中でのカレンダーはおもしろいなと思いました。平野先生の模擬学級会では、他校の先生の考えを聞くことができ、これからの学級での話し合い活動に生かしていきたいと思いました。

午後の部の新潟の3人の先生方のお話は、橋本先生のお人柄と赤坂先生、三條先生とのステキな関係がとてもうらやましく思いました。3人の先生方のお話が聞けたことを幸せに思います。

★別の研修会で学級経営計画をつくるということを知り、どうやってつくればよいのか悩んでおりましたが、今回、相田先生にお教えいただいたことがとても勉強になりました。

模擬学級会では、実際に体験しながら先生は何を考えなければならないか、他の先生の意見も聞いて勉強になりました。

魅力を語るでは、とても感動的なラストで特活のよさが印象に残りました。いただいた資料で、今後もっと勉強したいです。

杉田調査官のお話は初めてでしたが、こんな熱い思いをお持ちの方が改訂される新学習指導要領が楽しみです。今後の方向もよく分かりました。課題として示されたことにどんどん取り組んでいければと思います。

★午前中のリレー発表は、それぞれの先生方の大事にしているものがわかりました。ただ、急ぎ足を感じたので、じっくり聞きたいなあという感想を持ちました。模擬学級会は、子どもになり、教師になり考えることができました。外してはいけない教師のすべきことは、子どもの実態をきちんと把握して、その子ども達ができる話し合いをさせることだと思います。

午後の「特別活動の魅力語る」で感じたことは、教え子の成長で魅力が再確認できたことです。話を聞いていて、学級活動での話し合い活動はあくまで子どもが主役で教師は裏で支えて指導していくものだと思います。

★今日の学習会に参加して、自分自身の小学校時代を思い出しました。やはり思い出すのは、学級の中でトラブルがあった時に乗り越えていったことです。目の前のことに追われるのではなく、子どもたちの未来を見据えて一つ一つ実践していきたいものだと思います。そんな熱い思いを再認識することができました。

★「特活基礎講座、模擬学級会」では、4人の先生方の優れた実践例を学ぶことができ、たいへん参考になりました。始業式の出会いの演出や、1年生の学級経営、児童会の実践等、今後の自分自身の実践に取り入れていきたいと思いました。集

会行事、話し合い活動の実践 VTR（子どもの姿）を見てみたいとも思いました。また話し合い活動のポイントも分かりました。

「特活の魅力を語る」では、3人の先生方の熱いお話を伺うことができました。特に3人の手紙には感動し、実践と経験に裏付けられたものがあると思いました。杉田調査官の講演では、日本の教育が全人教育であること、競争する相手は目の前の子どもで、どの子どもも受け入れること、「私は～」という意見を言える子どもを育てること、などキーワードをたくさん学びました。特活の役割の大きさを再認識しました。

★昨年、本校では各学級の「話し合い活動の進め方」に追われることが多かったのですが、学習会に参加して特別活動の魅力の新たな面（実は本質？）に触れることができた気がします。本校の職員ももっと参加できたら、もっと話し合いも深められたのにと思いました。

★正直なところ案内を見た時、黙って一日お勉強させてもらえるから参加してみようという安易な気持ちで申し込んでいました。いきなりインタビューやグループ討論会などがあり、びっくりしましたがたいへん充実した一日を過ごさせていただきました。今まで、自分がうまくいかなかった原因やこれから何を大切に子どもたちとかかわっていけばよいかということを学ばせていただきました。教師自身が目標を明確に持ち、心で子どもたちを育てていけるよう、努力していきたいと思えます。

★模擬学級会はとてもいい研修になりました。具体的な場面設定の中で、子どもの立場になったり教師の立場になったりしながら考えることが、自分にとってたいへん意義のあるものでした。この研修の進め方を、校内研修でも使ってみたいと思いました。

会の持ち方など出していただいた意見につきましては、スタッフでしっかりと検討し、次の学習会で生かせるようにしていこうと思えます。

---

### 3 メルマガ編集部からのお知らせ

---

#### ◆次号の予告◆◇◆

第52号は1月下旬ごろ発行予定です。

次号は、集会活動と学級づくりについてお送りします。

#### ◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は205名となり、いよいよ200人を越えました。ますます内容を充実させていかなければと思っています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。特活の実践を広げ、共有していきましょう。

2月は、お別れ間近となつての取組が各学級で行われ始める頃ではないでしょうか。その中で、学級文集づくりへの取組や6年生を送る会のシナリオなどについて実践交流できたらと考えています。先生方が取り組んでおられる実践を紹介してください。

本メールマガジンでは、今後、以下のようなことについての情報を交流し合いたいと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

<実践投稿のヒント>

- 4月頃 出会いの演出・新学期の学級経営
- 5月頃 連休明けの学級経営のポイント
- 6月頃 室内でできる簡単イベント
- 7月頃 夏休み前の学級経営・1学期のまとめ
- 8月頃 子どもとのつながりを考える
- 9月頃 2学期スタートの学級経営・運動会と学級をつなぐ取組み
- 10月頃 意欲的に行事に取り組む手だて
- 11月頃 学級目標の見直し・音楽会と学級づくり
- 12月頃 お楽しみ会の在り方・年賀状と学級づくり
- 1月頃 新年の誓い・新たな気持ちを学級づくりに生かす
- 2月頃 文集づくり・6年生を送る会のシナリオ
- 3月頃 お別れ式の持ち方・先生の通知票

以下のアドレスまでよろしくお願ひします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====